

## 教えて! 富山 けいざい



### 燃料電池自動車ってなあに？

◆車内で電気つくるエコカー／数分で水素充てん

ブン子さんは北陸経済研究所（富山市）の楠智也主任研究員に質問しました。

Q－どんな車を言うの。

A－燃料電池で発生させた電気で走る自動車です。水素と空気中の酸素を化学反応させて電気と水を発生させ、電気でモーターを回して走ります。トヨタ自動車の「MIRAI（ミライ）」や、リース専用ですがホンダの「クラリティ フューエルセル」が有名です。



Q－電気自動車との違いは。

A－エンジンではなく、モーターで走るエコカーという点では同じです。違いはモーターを動かすための電気の供給方法です。電気自動車は外部から充電してバッテリーに電気をためますが、燃料電池自動車は水素タンクを積み、車内で電気をつくります。

Q－環境に優しいのはどっち。

A－両方とも走行中には二酸化炭素や排気ガスが発生しません。エネルギー源の電気や水素がどれくらい環境に優しい方法で作られているかの違いとなります。火力発電や天然ガスからの水素製造は二酸化炭素が発生しますが、再生可能エネルギーを利用すれば二酸化炭素が発生しません。

Q－どちらが便利かな。

A－電気自動車の充電には時間がかかります。例えば日産自動車の「リーフ」の場合、標準装備の充電器を利用した普通充電では空の状態から8時間程度、急速充電でも80%までの充電に約40分かかります。燃料電池自動車は水素の補充が数分で完了します。航続距離もリーフの400キロに対しMIRAIは650キロです。ただ設備設置の費用は、電気自動車の充電スタンドより、燃料電池車の水素スタンドの方がずっと高額です。

Q－県内に水素スタンドはあるの。

A－水素スタンドは今年1月時点で全国99か所で、大都市や太平洋側にしかありません。しかし、富山水素エネルギー促進協議会（代表理事・山口昌広北酸社長）が2020年までに富山市内で水素スタンドを開設するという目標を立てており、その実現が期待されています。